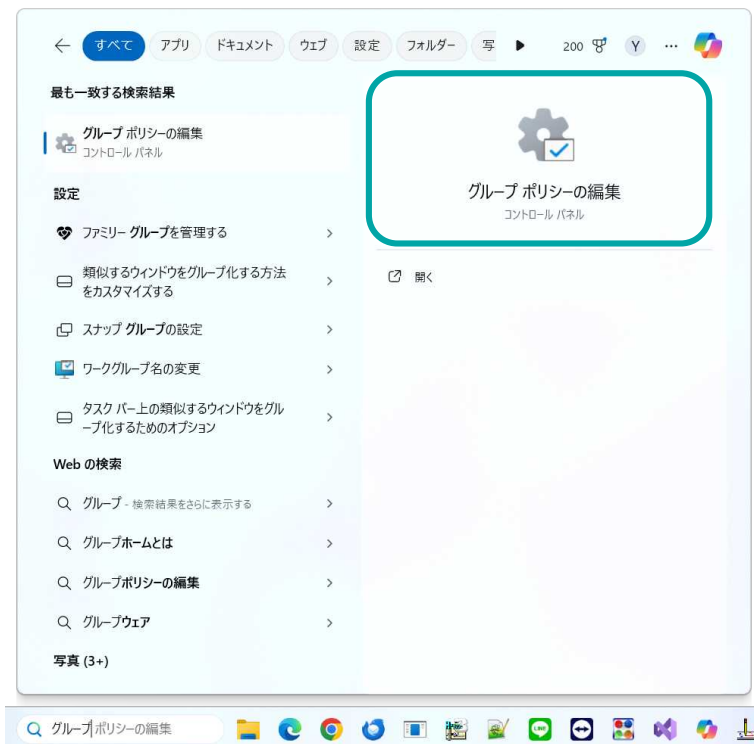


※下記の設定はWindows Proを想定しています。Windows ホームエディションをご使用の場合は、4 ページ以降の「TRC-900Z用CAD側PC設定確認(レジストリエディタ編集用)を参照してください。

設定確認方法

ローカルグループポリシーエディターの起動

方法1) Windowsの検索ボックスで「グループポリシーの編集」と入力すると「グループポリシーの編集」が表示されますので、クリックして下さい。



方法2) [Windows] キーと[R] キーを同時に押下して下さい。

「ファイル名を指定して実行」が表示されますので、“gpedit.msc”と入力し、「OK」をクリックして下さい。

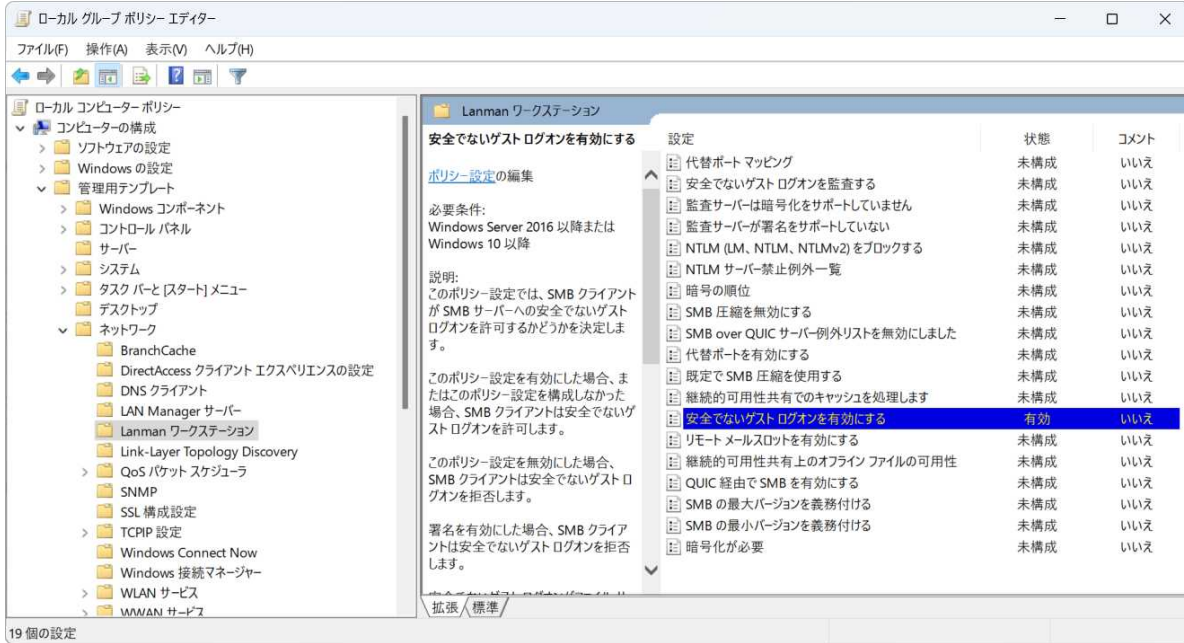


確認1) 安全でないゲストログオンを有効にする

ローカルコンピューターポリシー

- > コンピューターの構成
- > 管理用テンプレート
- > ネットワーク
- > Lanmanワークステーション

「安全でないゲストログオンを有効にする」を”有効”にして下さい。

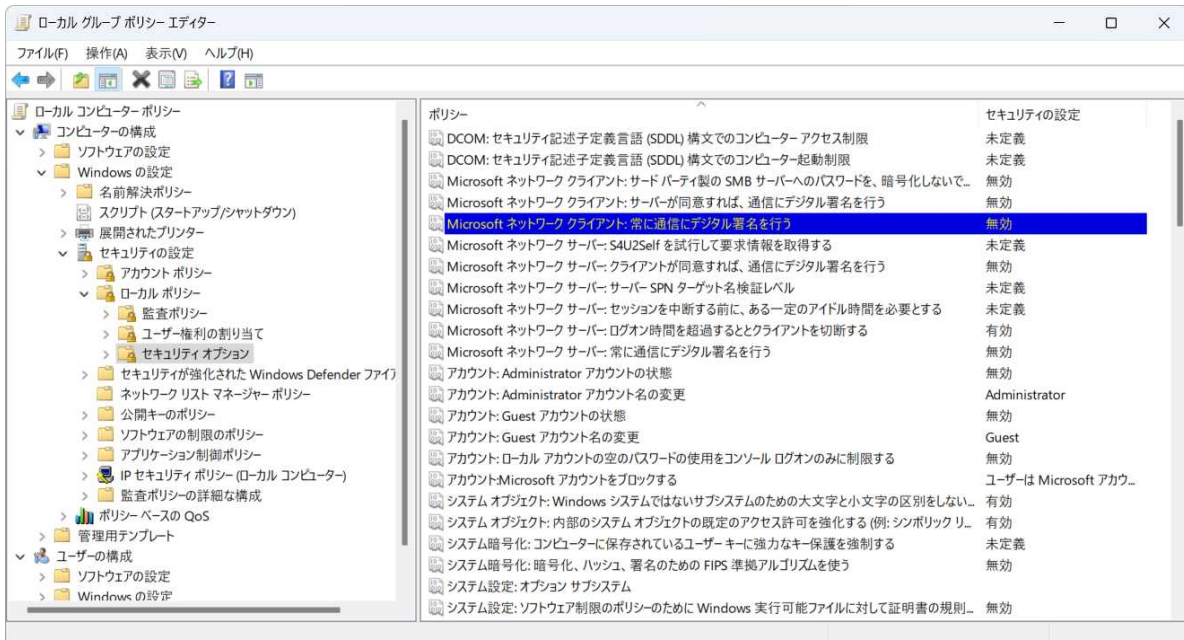


確認2) Microsoft ネットワーククライアント:常に通信にデジタル署名を行う

ローカルコンピューターポリシー

- > コンピューターの構成
- > Windowsの設定
- > セキュリティの設定
- > ローカルポリシー
- > セキュリティオプション

「Microsoft ネットワーククライアント:常に通信にデジタル署名を行う」を”無効”にして下さい。

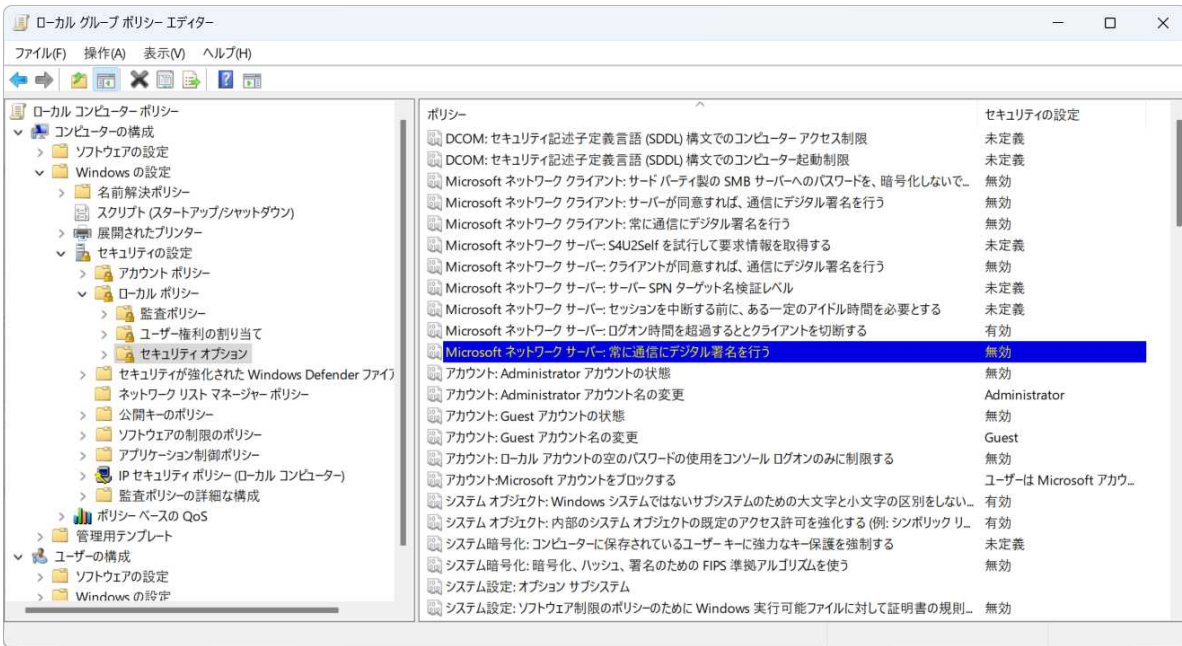


確認3) Microsoft ネットワークサーバー:常に通信にデジタル署名を行う

ローカルコンピューターポリシー

- > コンピューターの構成
- > Windowsの設定
- > セキュリティの設定
- > ローカルポリシー
- > セキュリティオプション

「Microsoft ネットワークサーバー:常に通信にデジタル署名を行う」を”無効”にして下さい。



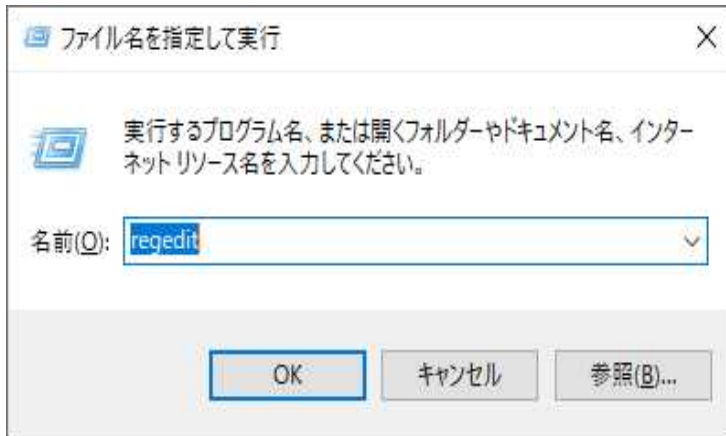
「TRC-900Z用CAD側PC設定確認」の説明は以上となります。

※Windows ホームエディションをご使用の場合は、次ページ以降を参照して下さい。

設定確認方法

レジストリエディタの起動

[Windows] キーと[R] キーを同時に押下してください。「ファイル名を指定して実行」が表示されますので、「regedit」と入力し、「OK」をクリックして下さい。



確認1) 安全でないゲストログオンを有効にする

HKEY_LOCAL_MACHINE

>SYSTEM

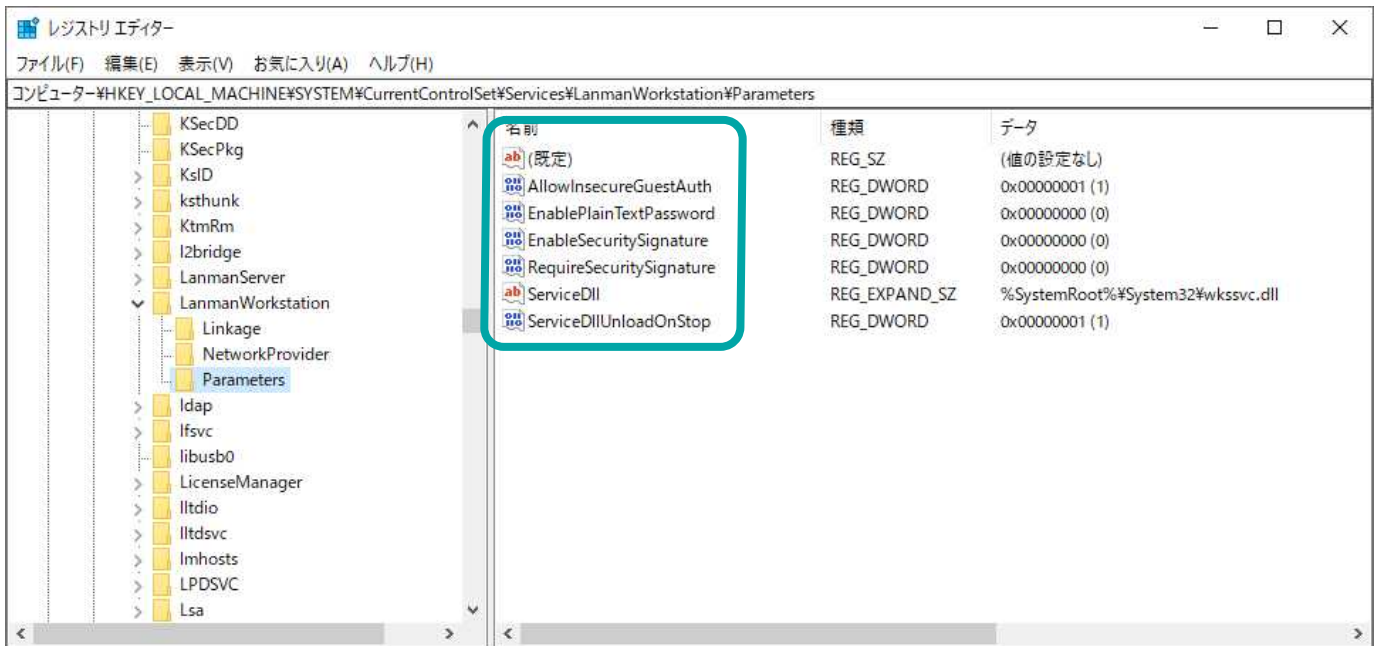
>CurrentControlSet

>Services

>LanmanWorkstation

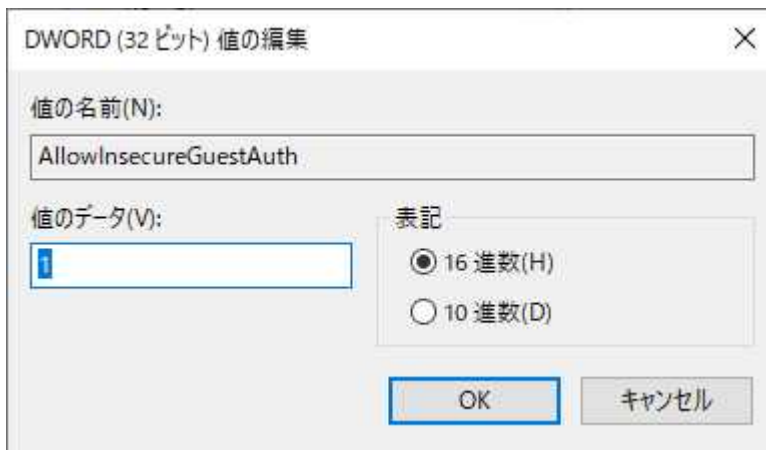
>Parameters

ウィンドウの右側に[AllowInsecureGuestAuth]があるか確認します。



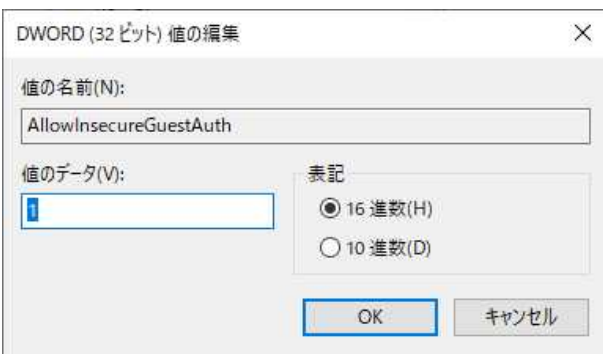
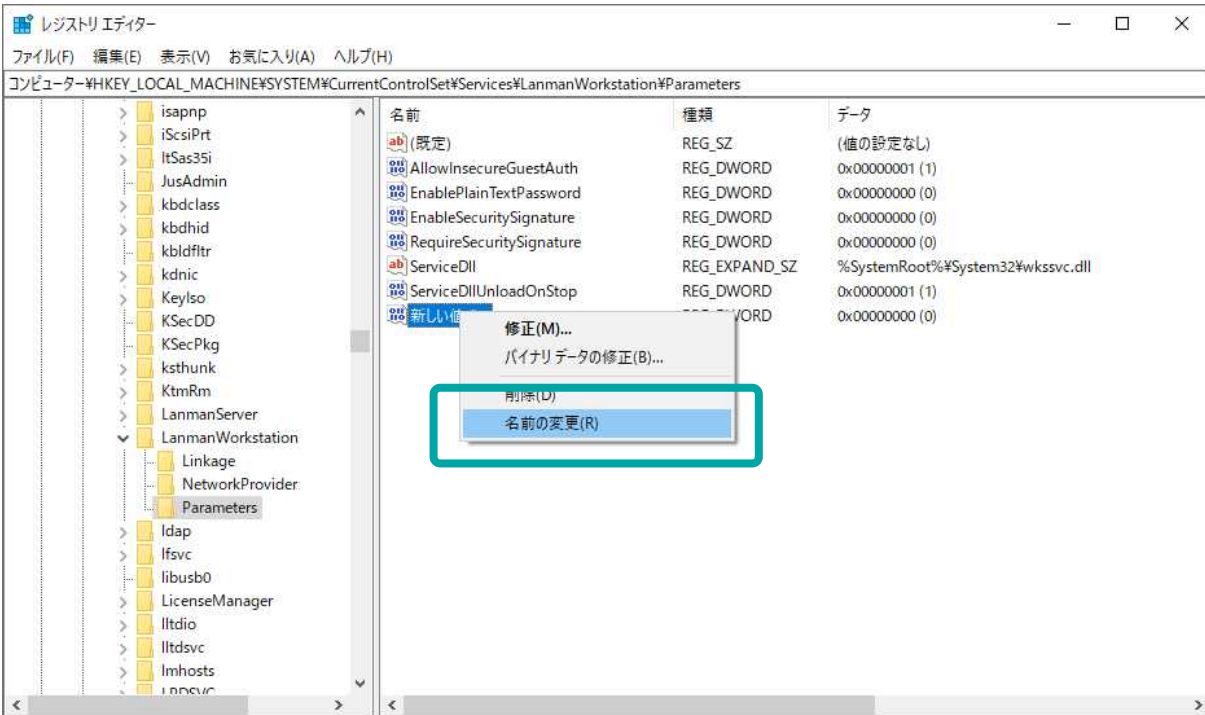
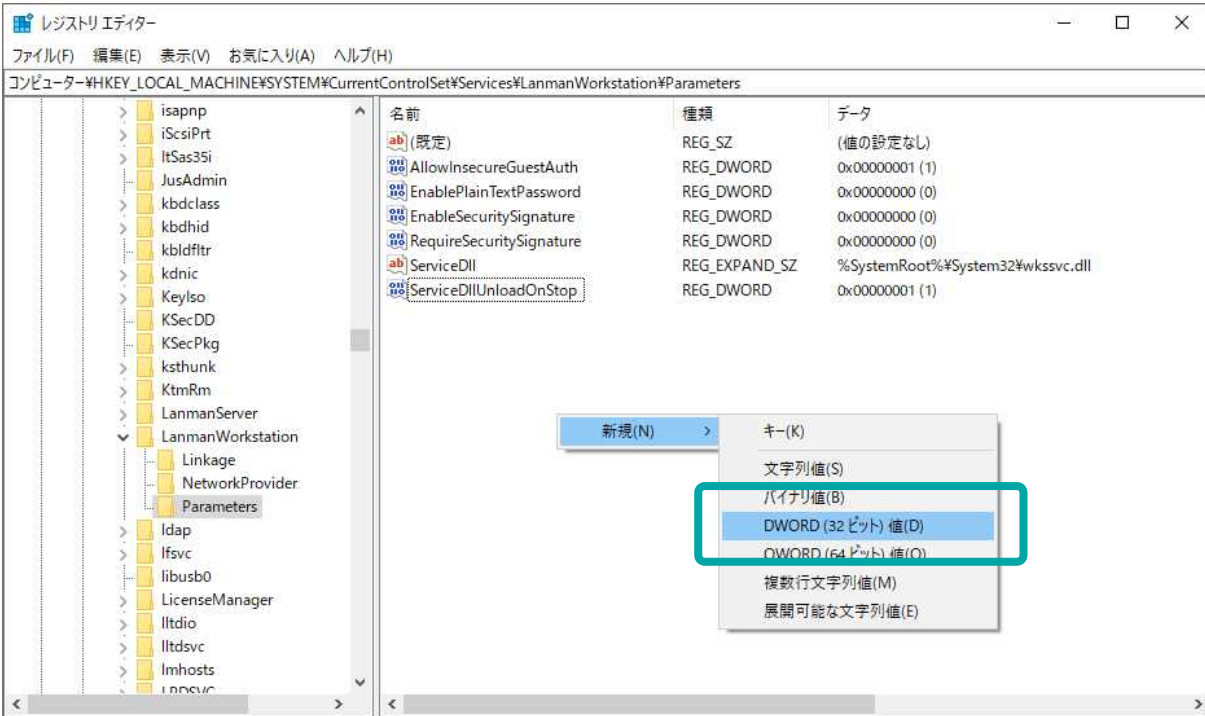
| 表示があった場合

①[AllowInsecureGuestAuth]をダブルクリックします。②[データの値]が“0”なら“1”（半角数字）に変更して[OK]をクリックします。”1”の場合は変更不要です。



表示がなかった場合

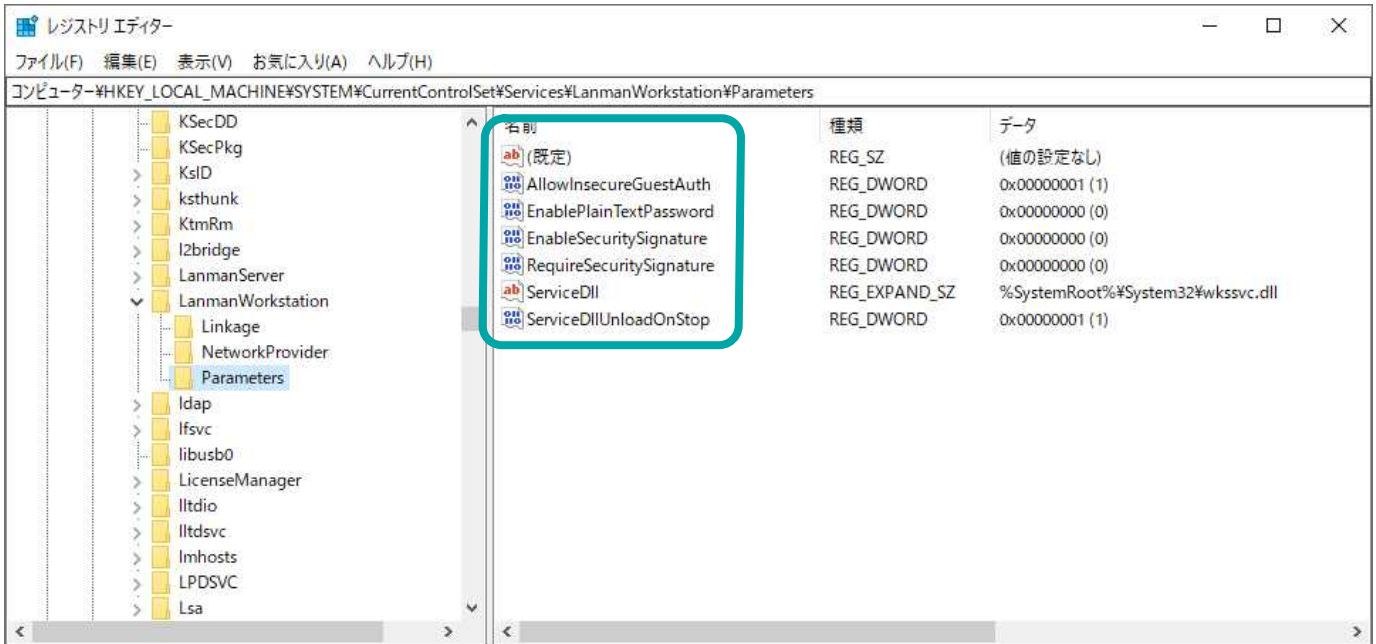
- ① ウィンドウ右側の何もなかったところで右クリック後、[新規]→[DWORD (32 ビット) 値]の順にクリックします。
- ② 作成した項目を右クリックして「名前の変更(R)」から[AllowInsecureGuestAuth]に名前を変更します。
- ③ [AllowInsecureGuestAuth]をダブルクリック後、[データの値]を“1”に変更します。



確認2) Microsoft ネットワーククライアント:常に通信にデジタル署名を行う

HKEY_LOCAL_MACHINE
 >SYSTEM
 >CurrentControlSet
 >Services
 >LanmanWorkstation
 >Parameters

ウィンドウの右側に[RequireSecuritySignature]があるか確認します。



| 表示があった場合

①[RequireSecuritySignature]をダブルクリックします。②[データの値]が“1”なら“0”（半角数字）に変更して[OK]をクリックします。”0”の場合は変更不要です。



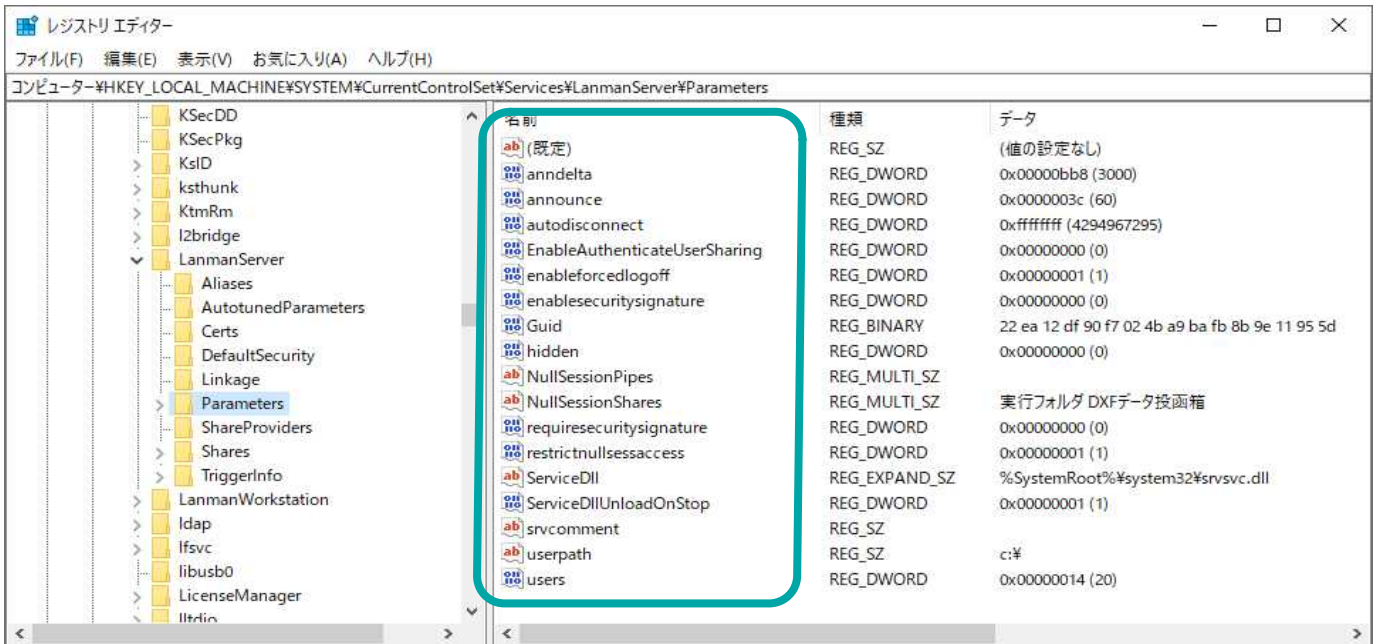
| 表示がなかった場合

①ウィンドウ右側の何もないところで右クリック後、[新規]→[DWORD (32ビット) 値]の順にクリックします。
 ②作成した項目を右クリックして「名前の変更(R)」から[RequireSecuritySignature]に名前を変更します。
 ③[RequireSecuritySignature]をダブルクリック後、[データの値]を“0”に変更します。

確認3) Microsoft ネットワークサーバー:常に通信にデジタル署名を行う

HKEY_LOCAL_MACHINE
 >SYSTEM
 >CurrentControlSet
 >Services
 >LanmanServer
 >Parameters

ウィンドウの右側に[RequireSecuritySignature]があるか確認します。



| 表示があった場合

①[RequireSecuritySignature]をダブルクリックします。②[データの値]が“1”なら“0”(半角数字)に変更して[OK]をクリックします。”0”の場合は変更不要です。



| 表示がなかった場合

①ウィンドウ右側の何もないところで右クリック後、[新規]→[DWORD (32 ビット) 値]の順にクリックします。
 ②作成した項目を右クリックして「名前の変更(R)」から[RequireSecuritySignature]に名前を変更します。
 ③[RequireSecuritySignature]をダブルクリック後、[データの値]を“0”に変更します。

「TRC-900Z用CAD側PC設定確認(レジストリエディタ編集用)」の説明は以上となります。